

The Japan Association of Radiological Technologists
ネットワーク・ノウ

Network Now

2023 No.575

11 / 1

JART情報
<https://www.jart.jp>

発行所 公益社団法人日本診療放射線技師会
〒108-0073 東京都港区三田1-4-28
三田国際ビル22階
TEL. 03-4226-2211 FAX. 050-3153-1519



令和5年度 診療放射線技師 養成機関・職域団体との懇談会が 開催される (Web開催)

令和5年度における診療放射線技師養成機関と職域団体との懇談会が、2023年9月23日(土・祝)午後2時から4時までオンラインで開催されました。この懇談会には、全国の56の診療放射線技師養成機関および11の職域団体から多数のご参加を頂きました。

懇談会の冒頭、上田会長から心温まるあいさつがあり、その後、養成機関、職域団体、本会役員が紹介されました。

続いて日本診療放射線技師会の事業について詳細な報告が行われました。内容は、令和5(2023)年度事業計画の進捗状況、JART Vision 2040に関する情報、告示研修についての説明、国家試験の在り方についての要望書の提出に関する報告、第39回日本診療放射線技師学術大会についての詳細、

第1回日本放射線医療技術学術大会の案内などについてでした。

これらの報告を通じて、診療放射線技師の専門分野における最新情報と今後の展望について共有し、質疑を行いました。その後、養成機関と職域団体から提起された課題や意見について質疑応答がなされ、建設的な意見交換が行われました。終始、協力的な雰囲気の中、懇談会は無事に終了しました。

今後も情報共有をさらに深めながら、診療放射線技師の専門知識や技術の向上を図り、社会に貢献できる取り組みを進めていく予定です。診療放射線技師の役割がますます重要となり、各所との連携も強化し、専門職の発展に寄与していく決意を新たにする懇談会となりました。

上田会長と堀住事務局長、浅沼医政局長を訪問する

2023年9月6日(水)、本会上田会長と堀住事務局長が厚生労働省医政局に、本年9月1日付で着任されたばかりの浅沼一成医政局長を訪問しました。

浅沼医政局長との面談では、告示研修での医師のタスク・シフト/シェアに関する診療放射線技師の取り組みの報告を含め、本会から持参した資料に沿って生殖腺防護の廃止に向けたお話をさせていただきました。この話題には、大いに興味を示していただきました。これからも必要に応じて訪問させていただき、診療放射線技師職と診療放射線技師の活用にご理解とご助言を頂ければと存じます。



浅沼一成医政局長と本会上田克彦会長

本会と日本臨床工学技士会、共同で 日本医師会 釜蒔常任理事を訪問する

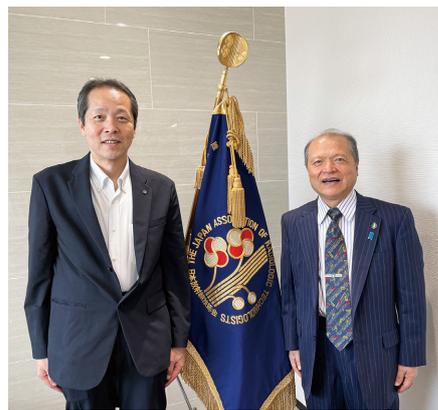
2023年9月22日(金)、本会上田会長、江端業務執行理事は、日本臨床工学技士会理事2人と共に日本医師会 釜蒔常任理事を訪ねて日本医師会館を訪問し、医師の働き方改革に伴うタスク・シフト/シェアを推進するための告示研修受講の進捗状況の報告と、研修受講費用の地域医療介護総合確保基金(区分Ⅵ)の活用申請への医師会会員各位に向けた広報の依頼を行いました。釜蒔先生からは基金の申請が煩雑であることへのご理解と、この基金利用を進める重要性についてご指摘いただき、医師会会員各位への広報にご協力いただけるとの言葉を頂きました。



日本医師会訪問

中澤靖夫氏、事務局を訪問される

本会名誉会員である中澤靖夫氏が、昨年春の叙勲において旭日小綬章を受章され、本年8月に受章祝賀会が開催されましたが、9月12日(火)に中澤氏が、祝賀会発起人代表でもある上田会長にお礼の気持ちを伝えに事務局を訪問されました。中澤氏ご自身の現在のご様子や体調管理についてお話を伺い、上田会長からは、健康に留意され、今後も本会の活動についてご意見ご指導を賜りたい旨をお伝えし、和やかに懇談しました。



国家試験日程決まる

第76回診療放射線技師国家試験の施行について、2023年9月1日付で厚生労働省から報告がありました。

試験期日は2024年2月15日(木)、試験地は、北海道・宮城県・東京都・愛知県・大阪府・広島県・香川県・福岡県です。試験科目は、基礎医学大要・放射線生物学(放射線衛生学を含む)・放射線物理学・放射化学・医用工学・診療画像機器学・エックス線撮影技術学・診療画像検査学・画像工学・医用画像情報学・放射線計測学・核医学検査技術学・放

射線治療技術学・放射線安全管理学です。合格発表は2024年3月21日(木)午後2時です。なお、試験に関する手続きおよび問い合わせ先は以下の通りです。

「診療放射線技師国家試験運営本部事務所」

〒135-0063

東京都江東区有明3-6-11 TFTビル東館7階

TEL: 03-5579-6903

JART求人広告掲載について

会誌に掲載する診療放射線技師募集の求人広告を随時受け付けております。申込書ならびに募集要項につきましては、本会ホームページ(各種資料・手続き→各種様式→その他)よりダウンロードしてご確認ください。

なお、掲載月の前月5日が掲載申し込みの締め切りとなっております。

INFORMATION

2022年度 永年勤続表彰者

2022年度の永年勤続表彰者が発表されました。
おめでとうございます。

50年勤続表彰

北海道 山本 悌二	捧 和 雄	石川県 山本 友行 池田 良治 荒木 茂	静岡県 奥村 正義 伊藤 雅夫	奈良県 林 義和	広島県 谷口 金吾	田中 良則
岩手県 早川 英信	埼玉県 小川 守	富山県 北本 正幸 渋谷 章良	愛知県 月田 邦彦	大阪府 松尾 雅基	山口県 吉山 善夫	宮崎県 財部 政秀
宮城県 大山 勝彦	東京都 涌井 富雄 西山 篤篤 加藤 文明 金場 敏憲	福井県 和田 廣司	三重県 矢田 五夫	岡山県 藤田 仁 石田 省三	福岡県 中野 努 原 健二 吉瀬 孝志 稲富 孝治	
新潟県 井口 信一						計 32人

30年勤続表彰

北海道 林 秀樹 佐藤 和宏 西澤 研二 釜石 明憲 高橋 一穂 竹内 はるみ 安達 文吾 坂口 弘之 野瀬 真貴子 千葉 瑞希 加藤 伸博 田中 鈴木 ちあき 鈴木 孝外 田中 孝幸	山形県 荒木 和枝 木村 純一	福島県 統橋 順市 穴澤 明弘 久米 祐樹 千葉 雄二 足利 広行 佐々木 亮浩	新潟県 穂 苅美智子 佐久 正樹 折笠 道明 大平 典二 明田川 一郎 小林 一恵 諸 橋 浩彦 山賀 敏彦 富田 美千子	栃木県 田所 宏道	茨城県 池田 正一 樫村 智之 関 秀彦 大石 武祐 生井 祐重 吉沼 男浩 大塚 新吾 橋本 新吾	群馬県 星野 洋満 杉野 雅人 伏島 努一 田 浩一	埼玉県 芦葉 弘志 上原 晋三 阿久津 和彦 鈴木 洋信 秋山 博信 富田 信	千葉県 奥村 健一郎 赤石 浩人 石橋 里恵子 小倉 克友	東京都 小林 雅治 木暮 陽介 宅藤 謙一 齊木 仁史 中田 真路 浅沼 雅康 河内 伸江 大松 崇巨 根本 道子 根田 真光 岡部 博之 近 和良 大河内 明彦 飯村 浩志 小美野 高志	神奈川県 伊藤 隆行 米田 直靖 山口 健崇 井上 章博 鎌田 博章	長野県 蒔田 博人 樋口 仁志 伴 亮一 中澤 勝陽 岡庭 淳一 丸山 添彦 川 添彦	石川県 宮下 高子 田内 晶子 高木 健修 山下 貴光 松崎 貴光	富山県 原田 淳也 鶴見 裕樹 下田 政儀	福井県 中條 輝美	静岡県 岩田 勉 愛甲 泰久 中山 文俊 野崎 恭弘 鈴木 千晶 村松 伸彦 石川 文彦 山本 勇夫	愛知県 戸嶋 文男 齋藤 亮史 則竹 昇 古田 和久 佐渡 真	江西 上久 西沢 伊森 伊森 近安 佐野 佐佐 笹野 三三 水野 加藤 長谷川 千	和久 宏 久江 章一 織康 裕一 藤賢 忠亮 近藤 野亮 尾野 弘剛 橋野 貢司 藤 千泉	松本 洋一 山竹 中岩 本上 西木 田上 岩	奈良県 高谷 英明 島井 康友 石岡 雅幸 森岡 雅幸	大阪府 岸清 充人 川口 雅央 山口 功史 米谷 孝史	兵庫県 南河 進之 合宏 信保 前田 辰貴 池田 貴竜 松本 田啓 須川 超明 梁上 勝哉 村井 康司 藤水 健二 水野 芳昭 岩本 成二 木下 道則	岡山県 王井 順久 光田 井英 守屋 隆幸 角場 幸智 鈴木 智子 宮川 修	森本 規夫 渡邊 憲正 赤木 高正 浦辺 亮弘 政宗 好雄 北村 健吾 水谷 孝徳 安部 昌弘 畑山 秀貴 下土 居好 丸山 本健 山本 健之	広島県 浦辺 亮弘 政宗 好雄 北村 健吾 水谷 孝徳 安部 昌弘 畑山 秀貴 下土 居好 丸山 本健 山本 健之	鳥取県 西尾 貴浩 小西 哲生 増田 大宏 嶋 康	島根県 山田 勝志 吉岡 隆二	山口県 増本 矢勝 山本 下邦 内山 茂信 岡田 浩之 今村 勇一郎 村三 輪光 松原 弘泰	香川県 鈴江 耕作 孝寿 秀基
---	------------------------------	---	---	---------------------	---	---	--	--	--	--	---	---	---------------------------------------	---------------------	---	---	---	--	---------------------------------	--	--	--	---	--	---	--	------------------------------	--	------------------------------

- 鎌野孝明 岡林史朗 貞末和弘 長崎県 本村壽浩 大分県 谷川龍一 宮崎県 小味昌憲 沖縄県 新城浩二
- 泰地周作 野口佳孝 萩尾由紀子 山田茂樹 矢野淳二 小林克宣 宮城修
- 宮本博樹 福岡県 野口佳孝 田中洋之文 田口勝久 吉田幸人 川崎年久 我謝幸夫
- 愛媛県 加藤豊幸 中村好文 三村好一 清水啓司 甲斐裕治 照木利恵子
- 岸本幸治 立寺智成子 伊藤伸一 板井孝二 駒崎隆行 与那嶺恵
- 高知県 山岡将人 江口恵子 伊井中 馬場隆幹 熊本県 橋本修 鹿児島県 藤橋弘
- 大石孝正 今村憲司 小森川 川谷弘幸 深田幸一 松村康博
- 廣瀬泰久 宮副浩司 藤吉高志 浦谷幸志 佐藤嘉史 中窪広昌
- 竹内実 本多武夫 村山義高 大浦孝志 村田和宏 元俊晶

計 285人

社会活動表彰 (江間賞) ならびに学術奨励賞受賞者

本会表彰規程より、江間賞は、前年度の社会活動カウントの上位取得者で社会活動の内容などが優れている者とし、地域性を考慮して特に優れている者10人以内に授与されることになっています。

また学術奨励賞は、積極的な自己研鑽^{けんさん}により診療放射線技師としての資質向上に努め、医療および公衆衛生の普及および向上に貢献した者に授与されることになっています。対象者は表彰を受ける前年度の本会生涯教育カウントの取得上位者となっています。

受賞者は下記の通りです。おめでとうございます。

なお、本会表彰規程により、授賞式は第39回日本診療放射線技師学術大会（熊本県熊本市）において執り行われました。



江間賞受賞者の方々



学術奨励賞受賞者の方々

江間賞	学術奨励賞
北村秀秋	秋田裕介
根本幹央	小林秀行
新井誠	俵紀行
倉重勲	野末高弘
田村隆行	石川和希
高谷英明	谷脇貴博
圓谷明男	岡田直也
中村勝	古閑飛鳥
山下泰生	副島恭平
豊嶋英仁	宮崎勇輔

(順不同)

医療安全推進週間の実施について

INFORMATION

厚生労働省では、2001(平成13)年度より毎年11月25日(いい医療に向かってGO)を含む1週間を「医療安全推進週間」と位置付け、医療安全対策に関し、医療関係者の意識向上、医療機関や医療関係団体における組織的取り組みの促進などを図るとともに、国民の理解と認識を深めることを目的とし、医療安全対策の推進を図り、さまざまな事業を実施しています。

本年度も2023年11月19日(日)から11月25日(土)までを「医療安全推進週間」とし、医療安全対策の普及・啓発活動を全国的に実施します。本会も後援団体となっています。

詳細は、厚生労働省のホームページ(以下、URL)で紹介されています。

- ・これまでの「医療安全推進週間」について；
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/iryuu/i-anzen/iryouanzennotorikumi_h31ikou.html
- ・本年度の「医療安全推進週間」について；
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/iryuu/iryouanzen2023_00002.html

第17回JSRT-JART合同市民公開講座 (札幌) 開催報告

JART 学術担当理事 川守田 龍

2023年9月9日(土)、札幌医科大学講堂 臨床教育研究棟1階で、日本放射線技術学会と日本診療放射線技師会(JJ)による合同市民公開講座が開催されました。札幌市に後援を頂き、日本放射線技術学会北海道支部が担当して「認知症」をテーマに、50人ほどの市民にご参加いただきました(プログラムは、右下をご参照ください)。

今回のテーマ「認知症」は、脳の病気や障害などさまざまな原因により認知機能が低下し、日常生活全般に支障を来す恐れのある状態で、高齢社会の日本において、65歳以上の患者は年々増加傾向にあります。認知症に向けた取り組みが、今後、ますます重要になると考えられる中、今回は医療者が患者にどのように関わっていくのか、家族が認知症を理解し身近でどのように支えていくのか、各先生方に講演資料をご準備いただきました。冒頭、JJ両会の代表(石田隆行JSRT代表理事、上田克彦JART会長)からあいさつがあり、診療放射線技師や両会の役割などについて話された後、講座がスタートしました。

基調講演では、高次脳機能創発分野で研究や臨床に携わっておられる医師の大槻美佳先生から、「認知症とは」から「診断まで」について、認知症と加齢との違い、さまざまな原因が認知症の発症に関与していること、それらを診断する方法と評価、近年の認知症診療の動向など、とても分かりやすい表現でご講演いただきました。北海道認知症の人を支える家族の会事務局長/日本認知症ケア学会代議員の西村敏子先生からは、患者会の創設の歴史、認知症患者の家族の心情や苦勞、そのケアの方法や現場の生の声をお聞かせいただきました。特に、軽度認知障害(MCI)について社会福祉に関する制度が整備されていないことなど、社会が抱える問題点などを挙げておられました。大槻先生、西村先生のご講演で共通していたことは、認知症は病気であり、早期発見・早期治療が大切であるということでした。

診療放射線技師からは、認知症の診断において鑑別診断に利用するCT・MRIについて高橋一広先生から、核医学について宇野貴寛先生から説明があり、脳萎縮の有無、脳血流、交感神経などを評価する心筋シンチの有用性など、それぞれの立場から分かりやすく講演していただき、ご参加いただいた方からは多くのご質問を頂きました。そのうちの一つに、認知症と神経伝達物質ドーパミンと核医学検査について質問があり、難しい質問でしたが、宇野先生は的確な回答をされていました。このように、診療放射線技師は物理学・技術学の習得も大切ですが、診療に必要な臨床的知識を持って診療業



務に当たることの大切さを再認識しました。

今回、北海道支部 蝶野大樹支部長はじめ支部の皆さまには講師依頼から広報、会場設営など大変お世話になりましたこと、心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

【プログラム】

司会：JSRT 学術委員長 松原 孝祐、JART 学術担当理事 川守田 龍

- 開会あいさつ
公益社団法人日本放射線技術学会 代表理事 石田 隆行
公益社団法人日本診療放射線技師会 会長 上田 克彦
- 基調講演 (14:10~15:00)
認知症とは、どんな病気? ~診察から診断まで~
北海道大学大学院 保健科学研究院 准教授 大槻 美佳 先生
(休憩:10分)
- 講演 (15:10~16:10)
 - 家族が認知症になったら (20分)
北海道認知症の人を支える家族の会 事務局長/
日本認知症ケア学会 代議員 西村 敏子 先生
 - 認知症患者に対する放射線検査の役割 [CT・MRI] (20分)
秋田県立循環器・脳脊髄センター 放射線科診療部
高橋 一広 先生 (JART)
 - 認知症患者に対する放射線検査の役割 [核医学] (20分)
旭川医科大学病院 診療技術部 放射線技術部門
宇野 貴寛 先生 (JSRT)
- 質問の時間 (16:10~16:20)
- 閉会あいさつ
公益社団法人日本放射線技術学会 北海道支部 支部長 蝶野 大樹

後 援：札幌市

令和5年度 マネジメント研修会LV4 (Part1、2) 開催報告

人材育成委員会 中村 泰彦

2023年9月9日(土)・10日(日)、国立がん研究センター研究棟で「マネジメント研修会LV4」を開催し、それぞれ13人(9日:Part1)、10人(10日:Part2)の方に受講していただきました。

この研修会はグループワークを中心にした研修会で、本年2月開催に引き続きマネジメントリーダーLV4の研修会として、2月に開催できなかった内容のコミュニケーション、ストレスマネジメント、リスクマネジメントを初日(Part1)に行い、2日目(Part2)は医療情勢、中期・年度事業計画、BSCについて、職場長の役割、キャリアプラン、目標評価と、人事考課などについて講義を受け、グループワークをしていただきました。マネジメントリーダーLV4は2日間の研修が必須で、今回は2日間受講していただいた方がほとんどでした。参加者は初対面で緊張もありましたが、グループワークが進むにつれ活発な意見交換ができ、グループ内のチームワークもできたようでした。また今回は、初日終了後に講師も含めた情報交換会を開催し、2日目はより活発なグループワークができたようでした。

参加者の意見を聞いても、ここで学んだことを職場に持ち帰り実践したいとの前向きな意見を頂き、改めて講義中心で



はなく、グループワークの大切さを実感しました。マネジメント研修会は診療放射線技師としての専門的なスキルと違ってなかなか慣れない内容ですが、参加してみると充実した内容で、管理者へのスキルアップにつながるものと感じていただけたと思います。ぜひとも多くの人に参加をお願い致します。

令和4年度ならびに令和5年度 がん検診受診率向上推進 全国大会 参加報告

広報委員会 高橋 俊行

がん検診受診率向上推進 全国大会は、厚生労働省が「がん対策推進企業アクション」という、企業が協賛している団体と年に一回開催しています。

日本診療放射線技師会では、がん検診受診率50%向上に関する事業の一環として参加しております。

令和4年度は2022年10月5日に東京都千代田区の一ツ橋ホールで、令和5年度は2023年10月4日(水)に大阪市中央公会堂で開催されました。

令和4年度には「がんの罹患経験を経て」というシンポジウムが開催され、がんの治療を受けながら仕事を続ける難しさや、各位の経験についてのお話がありました。

令和5年度は厚生労働省からの報告で、がん検診



大阪市中央公会堂

は肺がん検診を除けば40%程度の受診率であること、また乳がん検診などの女性に関する検診については、今後、受診率を伸ばしたいとの報告がありました。がん患者への支援として、受診時の休暇を取りやすくするなど、今後、協力してほしいとのことであります。

後半では「受けてや、がん検診」という演題で、東京大学大学院医学系研究科 特任教授 中川恵一先生のご講演と、ABCラジオ「Changeの瞬間 ～がんサバイバーストーリー」の公開収録もあり、会場は満席で盛大に開催されました。

日本診療放射線技師会も、がん検診の向上に向けた取り組みを、今後も行っていきたいと考えております。



診療放射線技師のための フレッシューズセミナー 開催報告

静岡県

公益社団法人静岡県放射線技師会 生涯教育委員 曾我 隆正

2023年9月2日(土)、静岡県放射線技師会事務所で2023年度診療放射線技師のためのフレッシューズセミナーを開催しました。講義は「入会案内」「エチケット・マナー」「医療コミュニケーション」「医療安全」「感染対策」「被ばく低減」の6科目を4.5時間みっちりで行いました。気温が30℃を超える残暑が厳しい中でしたが、25人に参加していただき会場参集型で行いました。

本セミナーの趣旨は、医療人としての基礎的な知識の習得、および診療放射線技師会への入会促進ですが、フレッシューズの方々には静岡県放射線技師会会長と事務所のご紹介、また他施設の診療放射線技師とのコミュニケーションを取れる場を提供したいとの思いで会場型にこだわって開催を企画しました。今後、本セミナーの参加を足掛かりに、院外の研修会



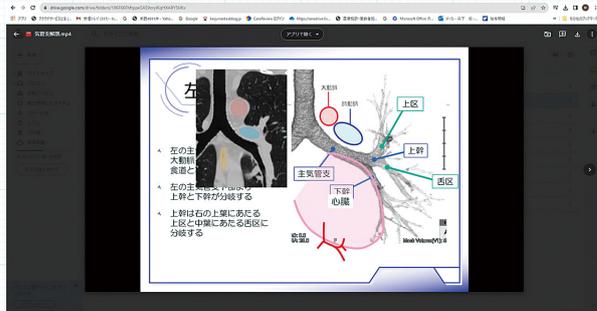
への参加に関心を持っていただくことの意義もあると考えています。そのため今後もできる限り会場型での開催を継続していきたいと思っております。

最後に、受講者およびセミナー開催にご尽力いただきました講師の皆さまに、心より感謝申し上げます。

石川県 (Web開催)

公益社団法人石川県診療放射線技師会 会長 森下 毅

2023年度のフレッシューズセミナーを2023年9月1日(金)から9月8日(金)にかけて、Web配信形式で行いました。対面式のセミナー復活が進んでいますが、少しでも多くの方に受講していただくよう前回に続いてオンデマンド形式としました。県内の診療放射線技師ばかりではなく、県外の方、学生の方からも問い合わせがあり受講していただきました。受講者数は39人であり、昨年的人数を大きく上回りました。内容は、医療人として携えておきたい応対・コミュニケーションスキルをはじめ、感染管理、医療安全、被ばく低減について、前線で頑張っておられる会員の方々に講師をお願いしました。私からは技師会の紹介のほか、われわれの職種に関する動向(生産人口減少に伴う働き手不足、ICT活用



による効率化やDXの推進など)を説明し、タスク・シフト/シェアの必要性についても触れさせていただきました。講師を務めていただいた会員の皆さまに厚く御礼申し上げます。

INFORMATION

第39回日本診療放射線技師学術大会 Web開催のオンデマンド 視聴方法について

第39回日本診療放射線技師学術大会には、多くのご参加・ご登録を頂き誠にありがとうございました。

2023年10月10日(火)から11月27日(月)までの期間でWeb開催を行っておりますので、オンデマンド視聴方法についてご案内致します。

JARTIS連携で参加登録された方は、大会ホームページよりマイページを経由してオンデマンドサイトへ進むことが可能です。登録時に返信されたメールに記載されているマイページURLからもマイページに進むことができます。

ゲスト登録された方(JARTIS連携をしていない方)は、登録時に返信されたメールに記載されているマイページURLからのみ視聴可能です。ご注意ください。

視聴はJARTイベントシステムのマイページから行います。JART情報システム(JARTIS)ではありません。

ゲスト登録者はメールのマイページURLから直接マイページに進んでください。

マイページの「大会詳細」および「大会申込詳細」それぞれに「オンデマンド視聴はこちら」のボタンがありますので、クリックしオンデマンドサイトへ進んでください。

オンデマンドサイトではIDとパスワードの入力が要求されます。マイページにオンデマンド視聴に必要なIDとパスワードが記載されていますので、入力してオンデマンド視聴を行ってください。

■ JARTIS連携の申込者がログインし、「大会詳細」画面を表示した場合



■ JARTIS連携の申込者がログインし、マイページから「大会申込詳細」画面を表示した場合



■ ゲスト登録者がメールに記載されたURLから「大会申込詳細」画面を表示した場合



継続させるためには

私は毎年、博多祇園山笠という祭りに参加しています。博多祇園山笠の起源は聖一国師が仁治2(1241)年、疫病除去のため、施餓鬼棚に乗って祈禱水(甘露水)をまいたのが始まりといわれています。780年以上続けてきた行事も、コロナ禍の影響で中止や、昨年のように制限下での開催が続いていましたが、今年はやっと全面開催になりました。

博多祇園山笠の祭り期間は7月1日から15日早朝までですが、開催準備を入れると他のお祭りに比べて非常に長期間です。コロナ禍でも何とかやれないかと知恵を絞り、いくつかの対策を出しましたが、国内の状況を見ると、やむを得ず断念しました。起源にもあるように疫病除去のために行われていた

シリーズ連載 **五感** — five senses

にもかかわらず開催できず、みんな我慢の4年間でした。この伝統行事も古くからの仕来りや守らなくては行けないことがたくさんあります。しかし、祭りを継承するには人材が必要で、仕来りを守りながらうまく運営するにはどうすればいいのか、役員は常に考えなくてはなりません。守るべきものをきちんと守り伝えながら、時代に合った人材育成を考えた改革があってこそ、780年以上の祭り継承ができています。日本診療放射線技師会の発展も、人材育成と若い世代の参加が会を長く存続させるキーになると考えます。改革なしでは、いつかは減んでしまいます。時代を見据えた改革は待たなしだと思います。(文責: 中村 泰彦)

JCRTM2024

第1回 日本放射線 医療技術学術大会

第40回日本診療放射線技師学術大会
第52回日本放射線技術学会秋季学術大会

会場 沖縄 コンベンションセンター
会期 2024年 10月31日(木) ~ 11月3日(日)



ゆいまーる

診療放射線技術の共創
All Japan
Radiological Technology



JART

■ 大会長：上田 克彦
■ 実行委員長：富田 博信



JSRT

■ 大会長：白石 順二
■ 実行委員長：奥田 保男

【お問い合わせ先】 第1回 日本放射線医療技術学術大会運営事務局

所在地：株式会社リンケージ沖縄内 〒901-2224 沖縄県宜野湾市真志喜 2-8-8-2F

TEL：050-3666-2460 / FAX：098-890-1921 / E-mail：jcrtm2024@linkage-okinawa.co.jp

HP：https://www.linkage-okinawa.co.jp/jcrtm2024



INFORMATION

論文を投稿される皆さまへ大切なお知らせ

投稿要領・投稿時の注意点の改定および テクニカルチェックリストの運用開始について

2020年11月より論文投稿システムを電子化してから、著しく投稿数が増加しています。会員の皆さまの研究成果を示す場として、有効に活用いただいているのではないかと考えます。一方で、投稿論文の質の担保や、査読者の負担を考慮することも重要です。

そこで編集委員会では、論文投稿に関するルールの見直しを行いました。論文投稿を検討されている皆さまには、これらを確認してからご投稿いただくようお願い申し上げます。

①投稿要領を改定しました

特に、本文および図・表の表記方法を具体的に示しました。投稿規程と併せて必ず順守してください。

②投稿時の注意点を大幅に変更しました

具体的な論文作成における考え方や書き方の一例も掲載しています。論文執筆時には必ず目を通してください。

③テクニカルチェックリストの運用を開始しました

論文投稿システムのログイン画面からダウンロードが可能です。作成した論文が各項目を満たしているか、著者および共著者で確認してください。テクニカルチェックリストは、論文投稿時に論文投稿システムへのアップロードが必須となります。

※詳細は会誌11月号のお知らせをご参照ください。

INFORMATION

11月・12月の講習会などスケジュールのご案内

- 超音波実技講習会「血管領域」： 東京 2023年12月9日(土)
- 骨関節撮影分科会 Webセミナー： Web開催 2023年12月13日(水)
- 放射線取扱主任者定期講習： 東京 2023年12月15日(金)

※このご案内の公開時に、定員に達して申し込みができない講習会・セミナーがある場合がございますのでご了承ください。

■ 告示研修（実技研修）／業務拡大に伴う統一講習会／診療放射線技師基礎講習 基礎技術コース（会場型）：

国会ホームページの「ニュース・お知らせ」またはJART情報システム（JARTIS）をご参照ください。

【e-ラーニング（ストリーミング方式）】

- 告示研修（基礎研修） 2026年3月31日(火)午後11時59分まで申し込み受け付け
※お申し込み成立の日から告示研修終了まで何度でも視聴いただけます。
- 人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針オンラインセミナー 2027年3月31日(水)午後11時59分まで申し込み受け付け
※お申し込み成立の日からセミナー終了まで何度でも視聴いただけます。
- 認定資格の取得を目指す在宅講習受講生の募集（ラダーレベル3） 2023年7月10日(月)午前0時から12月15日(金)午後11時59分まで申し込み受け付け
※各認定資格試験終了日（2024年1月）まで何度でも視聴いただけます。
- Ai認定講習会（e-ラーニング） 2023年10月4日(水)午前0時から12月19日(火)午後11時59分まで申し込み受け付け
※お申し込み成立の日から2024年1月27日(土)まで何度でも視聴いただけます。
- 医療安全管理者養成研修 2023年10月15日(日)午前0時から11月7日(火)午後11時59分まで申し込み受け付け
インターネット配信研修期間：2023年11月15日(水)午前10時から2024年1月15日(月)午後1時まで
集合研修開催日：2024年1月28日(日)(オンライン演習)
- 認定資格失効者講習会（在宅）
- 放射線診療に従事する者に対する診療用放射線の安全管理のための研修（在宅） 2023年12月22日(金)午後11時59分まで申し込み受け付け
※お申し込み成立の日から2024年1月27日(土)まで何度でも視聴いただけます。

■ オンラインセミナー（在宅）：国会ホームページの「ニュース・お知らせ」またはJART情報システム（JARTIS）をご参照ください。

事務所
案内

執務時間：月曜日から金曜日の午前9時30分より午後5時30分まで。
ただし、土曜、日曜、休日、祝日、創立記念日（7月13日）および年末年始（12月29日～1月3日）は執務致しません。